

減災ニュース No.24

環七地下調節池見学記(その2)

和田三丁目東町会 減災プロジェクトチーム

環七地下調節池の効果 平成9年から平成25年までの18年間で34回の流入実績があったそうです。内25年9月の台風18号では54万立方m満杯になったとのこと。この施設の完成により都内の洪水被害は激減しています。平成5年8月の台風11号と平成16年(第一期工事完成後)の台風22号の被害を比較すると、総雨量などの台風規模は同程度ですが、浸水面積は85haから4haに、浸水家屋は3117戸から46戸へと顕著な効果が見られます。なお、平成5年の台風の被害総額は156億円とのこと、工事費1010億円は台風7~8回で元がとれる(?)とのことでした。



その他の洪水対策 都では環七地下調節池以外の洪水対策として①河川流域の土地買収により護岸幅を広げ、河川の断面積を拡大②土地買収できないところは幹線道路下に地下分水路(バイパス)③掘り込み式調節池: 普段は公園となっているが増水時には調節池となる④地下調節池: 表面はグラウンドで地下に貯水タンク埋設(③、④は哲学堂公園および隣接グラウンド)などが整備されています。環七地下調節池は最大級の施設と思いますが、これらの対策の総合効果と思われます

地下トンネル見学 講義室で上記説明をしていただき、操作室で操作盤や監視スクリーン6枚(神田川、善福寺川、妙正寺川の各取水口と各河川の流量をリアルタイムで表示)を見学したあと、いよいよトンネルの見学です。エレベータもありましたが、全員ドロップシャフト沿いの階段(221段、地下14階相当)で地下へトコトコ降りていきました。階段やエレベータ、ポンプ室などはドライエリアと呼ばれ、最下層には潜水艦の扉みたいな2重扉の狭いハッチがありました。ここをくぐるともう真っ暗で照明施設は水で壊れるためつけていないとのこと。案内していただいたご担当の方2名が強力なライトで照らしてくれます。見上げるとド



ロップシャフトが黒々と口をあけ、接続トンネルを歩いてゆくと環七地下の本管に着きます。トンネル内は年1回清掃するとのことですが、ちょうど清掃が終わったところで臭気もなくきれいなトンネルを見学できました。なお、見学時には万が一に備え、取水ゲートは閉じてあり、地上との連絡のため、無線装置ももっていますとのこと。ライトを消した状態も体験させていただきましたが、本当に指先も見えない真の暗闇ってゾクゾクするものでした。内壁の一部には完成当時の「済美養護学校児童の壁画」が鮮やかに。壁帰りはエレベータで一気に地上へ。謎の巨大施設は迫力満点でした。



善福寺川取水施設見学申込み 3387-5369

見学は火曜と木曜の10時~、14時~。要事前申込み。個人でもOKですが、日程調整されることがあります。

施設の場所 環七を方南町方面に進み、立正佼成会を過ぎたところで善福寺川沿いの北側(高円寺側)の道を右折してすぐ。



和田ポンプ施設見学会 6月14日(土)環七東側善福寺川沿いの和田ポンプ施設(環七地下調節池と同様の貯水施設)見学会があります。詳細は回覧中です。申込みは都下水道局5343-6211。.